

ぎふ農畜水産物のブランド展開

■きぬむすめ（水稻） 新品種の実証拡大に向けた検討会を開催

近年の地球温暖化の進展、とりわけ夏の高温による米の品質低下が懸念される中、農業普及課では高温による影響が少なく、良食味が期待できる水稻品種「きぬむすめ」の現地実証を行い、この地域に適した栽培体系の確立を進めています。

5月1日には、今年度の実証ほに関する検討会を下呂総合庁舎で開催し、生産者や関係機関の担当者12名で検討を行いました。

出席者からは、「この地域の水稲の安定生産のために、新しい品種への取り組みを急ぐ必要がある」「生産組合の立ち上げに向けた話し合いを進めたい」「今年度の作付け計画について再確認が必要」などの意見が出されました。

農業普及課では、「きぬむすめ」の安定生産に向けた栽培実証を継続するとともに、生産拡大に向けた取り組みを支援していきます。

(地域支援係)



【実証ほ検討会の様子】